



三永水源地へようこそ



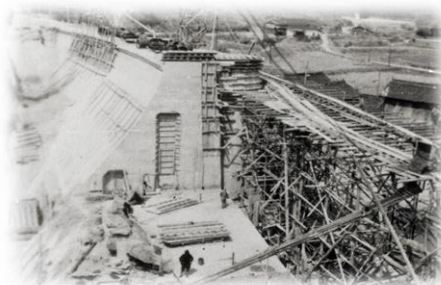
三永水源地は、呉市にあった軍港施設の拡張や人口の増加による水需要の増加や、干ばつによる水不足を解消するために建設した施設です。

戦時下の物資不足、人手不足にもかかわらず、約5年という短期間（昭和13年着工・昭和18年完成）で完成できたのは、当時の軍都「呉市」への給水が急務であったことが分かります。

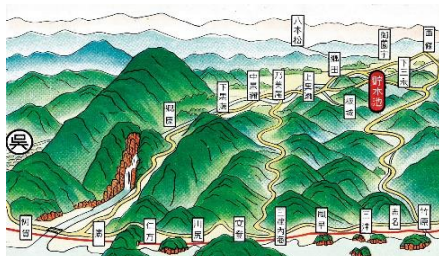
●上空からの様子 （★が水源地入口です。）



●建設当時の様子



堰堤築造工事の様子



導水線路の完成予想絵葉書



三永水源地満水
（昭和17年9月）

現在の三永水源地は、東広島市の工場へ給水する工業用水道の施設として稼働しています。

呉市上下水道局の取組

呉市上下水道局の基本理念



次世代につなぐ 信頼ある上下水道 ～呉のみずを守り抜く～

呉市上下水道局では、上下水道事業の経営計画である「呉市上下水道ビジョン2024～2033」を策定し、計画的な事業運営を行っています。

上下水道局全職員が「呉のみずを守り抜くためにはどうすればよいか」を常に考え、行動の中心に置き、これからも安全で安心な上下水道サービスを安定的に提供できるよう全力を尽くしていきます。

主な重点施策

- ・古くなった上下水道管を新しくする。
- ・地震に強い上下水道管に更新する。
- ・呉市の基幹配水池のバックアップ管路を整備し、危機管理体制を強化する。
- ・老朽化の進んでいる施設を計画的に更新する。



●三永水源地 見どころマップ



藤棚について

昭和29年に三永水源地に勤務している職員が、貯水池のほとり約300メートルにわたって100余本の藤を植栽しました。平成2年の台風19号の被害を受け、藤棚を造り直し、現在の形になりました。

探してみよう！ いろいろな藤

- ・ノダフジ（野田藤）
花の色は紫で、小さい蝶形花を多数つけ、花房の元から次々と咲きつづける。
長さは通常30～60 c mになる。
- ・アケボノフジ（曙藤）
花房は約30 c mで、つぼみは淡い紅色だが、開くと白色に近くなる。
- ・カピタンフジ（花美短藤）
花房は15～20 c mで、花は大きく花房全体が一度に開花する。
- ・シロカピタンフジ（白花美短藤）
花房は15～20 c mで、花は白くて大きく、花房全体が一度に開花する。